

FETCHING PROCESS SYSTEM FOR OPTION PROGRAM

Publication number: JP2162420 (A)

Publication date: 1990-06-22

Inventor(s): WATABE GORO; HONISHI YOSHITAKA; TAKADERA TOSHIYUKI +

Applicant(s): FUJITSU LTD +

Classification:

- **international:** G06F9/06; G06F9/06; (IPC1-7): G06F9/06

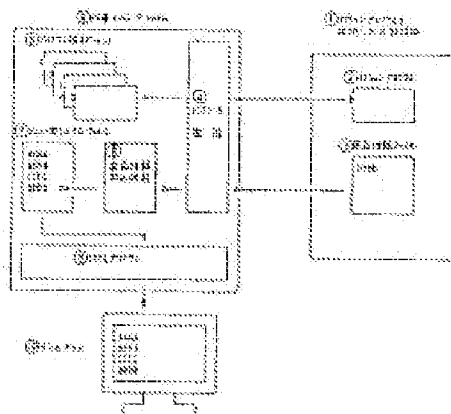
- **European:**

Application number: JP19880317140 19881215

Priority number(s): JP19880317140 19881215

Abstract of JP 2162420 (A)

PURPOSE: To realize the cooperation with an existing system by fetching an option program to be applied together with the information to be used for execution of the option program. **CONSTITUTION:** An install function 6 reads an option program 2 as a program 5 and also reads the information DDDD. A product information fetch mechanism 8 processes the information DDDD into a form that can be easily referred to at a high speed by a system program 9. Then the processed information DDDD is stored in a system file 7 for menus, etc. The program 9 executes the programs A, B, C, D... based on the contents of the file 7. In this case, the menus are displayed on a display 10 as necessary in accordance with each program and without giving the undesired influences to other programs. In such a way, the program 9 is used in cooperation with other programs.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

⑫ 公開特許公報(A) 平2-162420

⑬Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭公開 平成2年(1990)6月22日

G 06 F 9/06

4 1 0 B

7361-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮発明の名称 オプション・プログラム取込み処理方式

⑯特 願 昭63-317140

⑰出 願 昭63(1988)12月15日

⑱発 明 者 渡 部 悟 朗 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑱発 明 者 保 西 義 孝 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑱発 明 者 高 寺 利 行 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内
⑲出 願 人 富 士 通 株 式 会 社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
⑳代 理 人 弁 理 士 森 田 寛 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

オプション・プログラム取込み処理方式

2. 特許請求の範囲

1つまたは複数のプログラム(5)と、当該各プログラム(5)に対するメニュー表示を含む処理を行うためのメニュー等システム・ファイル(7)と、当該メニュー等システム・ファイル(7)を利用しつつ上記各プログラム(5)を実行するシステム・プログラム(9)と、上記メニュー表示を含む表示を行うディスプレイ(10)とをそなえ、

上記ディスプレイ(10)上に所望するメニュー表示を含む表示を行いつつ、上記各プログラム(5)に対応した処理が実行されるデータ処理装置において、

オプション・プログラム(2)自体と、当該オプション・プログラム(2)を実行する上で利用

されるメニュー表示等情報に対応する情報(DDDD)を保持する製品情報ファイル(3)とを有するオプション・プログラム格納外部媒体(1)をそなえると共に、

上記システム・プログラム(9)を有する対象コンピュータ・システム(4)が、

上記オプション・プログラム(2)自体を読み込んで、上記複数のプログラム(5)の1つに取込むと共に、上記製品情報ファイル(3)における情報(DDDD)を読み込む機能を有するインストール機能(6)と、

当該インストール機能(6)が読み込んだ情報(DDDD)を、上記メニュー等システム・ファイル(7)上に格納する製品情報取込機能(8)と

をそなえ、オプション・プログラム(2)を導入するに当って、当該オプション・プログラム(2)を導入することに対応して用意される製品情報ファイル(3)の内容を上記メニュー等システム・ファイル(7)上に格納し、上記システム

・プログラム(9)が利用するようにしたことを特徴とするオプション・プログラム取込み処理方式。

3. 発明の詳細な説明

(概要)

対象コンピュータ・システムにおけるシステム・プログラムが、メニュー等システム・ファイルの内容を利用しつつ、プログラムを実行するデータ処理装置において、オプション・プログラムを取込ませるためのオプション・プログラム取込み処理方式に関し、

オプション・プログラムを取込んだ上で、既存のシステムとの連携を正しくもたせるようにすることを目的とし、

導入すべきオプション・プログラムと共に、当該オプション・プログラムを実行する上で利用されるメニュー表示等情報に対応する情報(DDD D)を一括に取込ませるようにし、システム・プログラムがメニュー等システム・ファイル上に取

込んだ情報(DDDD)を利用できるようにした構成とする。

(産業上の利用分野)

本発明は、オプション・プログラム取込み処理方式、特に、対象コンピュータ・システムにおけるシステム・プログラムが、メニュー等システム・ファイルの内容を利用しつつ、プログラムを実行するデータ処理装置において、オプション・プログラムを取込ませるためのオプション・プログラム取込み処理方式に関する。

システムとは非同期に即ち例えば後から作成されたオプション・プログラムを取込ませるに当っては、従来からの既存のシステムと正しく連携させることが必要である。

(従来技術)

従来から、システムが必要とする情報は予めシステムに組込まれていた。

(発明が解決しようとする課題)

上記の如く、システムが必要とする情報が予めシステムに組込まれているという状態であるために、オプション・プログラムを取込むようにするに当っては、

(A) 或るシステムについては、取込むことのできるオプション・プログラムが予め定まったものに限られることとなる。全く新しいプログラムを追加した上で、既存のシステムと連携をとろうとすると、システムの入替えを行わねばならないことが生じかねない。

(B) 各種のオプション機能をも将来導入できるように予め配慮するようにすると、現に追加されてもいないオプションに関する情報をも、メニュー表示などに表示されてしまい、利用者が画面をみる上でとまどいを生じ、また操作性が悪くなる。

本発明は、オプション・プログラムを取込んだ上で、既存のシステムとの連携を正しくもたせるようにすることを目的としている。

(課題を解決するための手段)

第1図は本発明の原理構成図を示す。図中の符号1はオプション・プログラムを格納した外部媒体、2はオプション・プログラム、3は製品情報ファイル、4は対象コンピュータ・システム、5はオプション・プログラムを含んだプログラム、6はインストール機能であってオプション・プログラム2と製品情報ファイル3の内容である情報(DDDDと表示しておく)とを夫々読込むもの、7はメニュー等システム・ファイル、8は製品情報取込機能、9はシステム・プログラム、10はディスプレイを表わす。

プログラム5はシステムに導入されているプログラムである。メニュー等システム・ファイル7は、各プログラム5に対するメニュー情報やウィンドウ情報など各プログラム5に固有であって、かつシステム全体の動作や表示に影響を与えるような情報(AAAA、BBBB、CCCC、DDDD…)をファイルとしてまとめて保持しているものである。なお、システムが運用される際には、

当該メニュー等システム・ファイル7の内容は、高速メモリ上に配置されると考えてよい。

システム・プログラム9は、メニュー等システム・ファイル7の内容(A A A A, B B B B, C C C C, D D D D...)を参照しつつ、各プログラム(A, B, C, D...)を実行する。

オプション・プログラム2は、追加しようとするプログラムそのものである。製品情報ファイル3は、メニュー情報やウィンドウ情報などオプション・プログラムに固有であり、かつシステム全体の動作や表示に影響を与える情報(D D D D...)をファイルとしてまとめて保持するものである。この情報は、オプション・プログラム例えばDに対応して、用意される。

インストール機能6は、オプション・プログラム2と情報D D D Dとを夫々読込む。製品情報取込機能8は、情報D D D Dをメニュー等システム・ファイル7に取込ませる。

(実施例)

第2図は実施例構成を示す。図中の符号1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 10は夫々第1図に対応している。なお、7-1はシステム・メニュー・ファイルであって、第1図図示のメニュー等システム・ファイルの内容の一部を構成しており、図示の場合には、「日本語処理」なるメニューを表示できるように「日本語処理」という表示情報がセットされ、当該「日本語処理」が"e p o w o r d"と名付けられたオプション・プログラムと対応していることが記述されている。7-2はオブジェクト・テンプレート・ファイル(以下o t fという)であって、属性やプルダウン・メニュー情報などがセットされる。図示の場合には、日本語文書に関して、"l p p"というコードで、プログラム"e p o w o r d"が呼び出され得ることや、処理対象となるものが日本語文書であることなどが記述されている。

10-1は、オプション・プログラム2が導入された後に、ディスプレイ10上に現れシステム

(作用)

インストール機能6は、オプション・プログラム2を読込んでプログラム5の1つとし、かつ上記情報D D D Dを読込む。そして、製品情報取込機能8は、読込まれた情報D D D Dを、システム・プログラム9が高速で参照し易い形に加工し配置して、メニュー等システム・ファイル7上に格納する。

システム・プログラム9は、メニュー等システム・ファイル7の内容を利用しつつ、各プログラムA, B, C, D, ...を実行する。このとき、ディスプレイ10上に必要に応じて、各プログラムに適合しかつ他プログラムに非所望な影響を与えない形でのメニュー表示などが行われる。換言すれば、そのようなメニュー表示などを行わせるために、情報D D D Dがオプション・プログラムDと組にして用意されてメニュー等システム・ファイル7にセットされ、他のプログラムA, B, Cなどとの連携を正しくとりつつ、システム・プログラム9が利用できるようにしている。

・メニュー表示を表わしている。そして、導入以前においては、ディスプレイ10上には、図示のシステム・メニュー表示(旧)10-0に示される如きものが、システム・メニューとして表示されていたが、導入後には「日本語処理」というメニュー表示が現われることが示されている。

10-2は、オプション・プログラム2を導入した後で、日本語文書例えば「B 0 0 5」なるコードを付されている「部内連絡会資料」に対して、更新を行うことを指示しようとしていることを表わすオブジェクト一覧画面表示を示している。

オプション・プログラム2が導入されることに対応して、図示のオブジェクト一覧画面表示10-2などの表示を行いつつ、メニュー処理によってプログラム"e p o w o r d"を実行できるようにするための情報(上記D D D Dに対応する)がo t f 7-2上にセットされる。

(発明の効果)

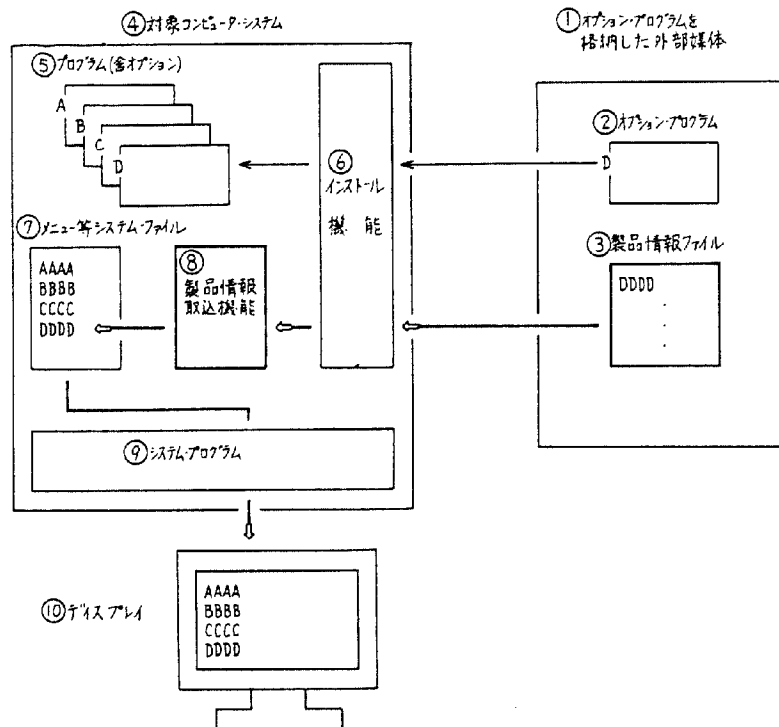
以上説明した如く、本発明によれば、オプショ

ン・プログラムを導入するに当って、当該オプション・プログラムを適正に動作させかつ既存のシステムに影響を与えることがないようにするための情報を、メニュー等システム・ファイル上に取込み、システムの動作や表示を正しく行わせるようにしている。このために、オプション・プログラムを導入するに当って、既存システムとの連携を正しくとる手段を情報 D D D D に書込めばよく、導入が大幅に簡易化される。

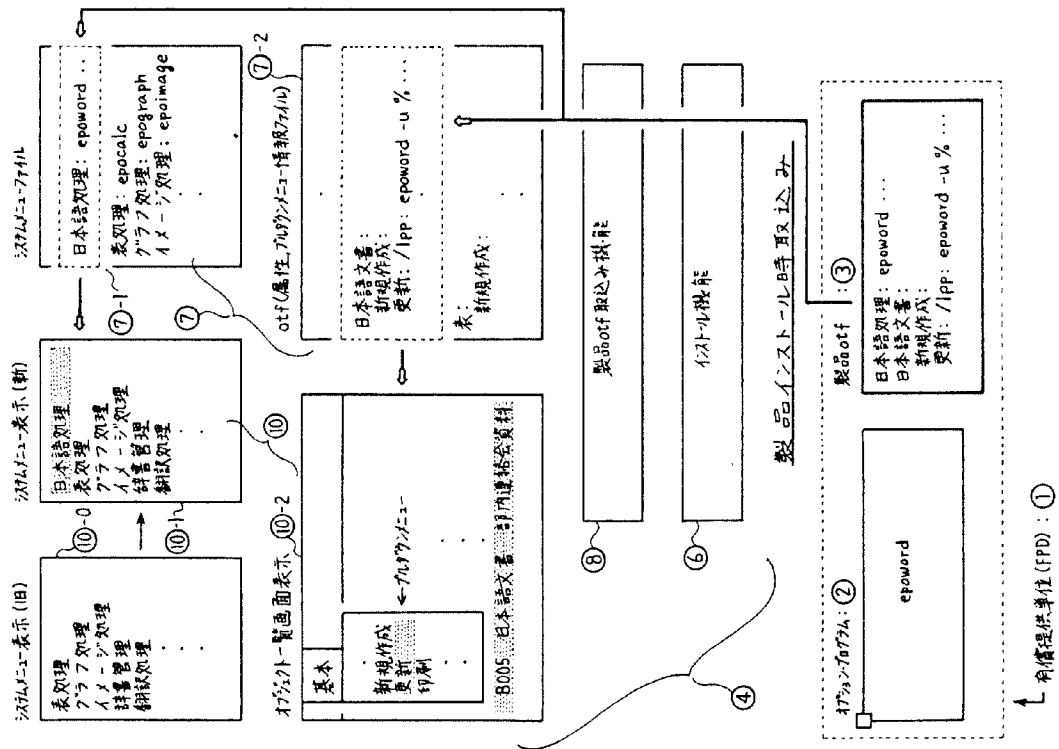
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理構成図、第2図は本発明の一実施例を示す。

図中、1は外部媒体、2はオプション・プログラム、3は製品情報ファイル、4は対象コンピュータ・システム、5はプログラム、6はインストール機能、7はメニュー等システム・ファイル、8は製品情報取込機能、9はシステム・プログラム、10はディスプレイ。



原理構成図
第 1 図



实例 2